

授業科目	子どものためのピアノ I (B クラス)				単位	1		
履 修	選択	関連資格	幼二種免 保育士		ナンバリング	CH21329J		
開講年次	1	開講時期	前期	該当DP	DP5-2			
担当教員	山路 麻佳、本多 一江、吉富 淳子、末成 妙子、井原 花絵、山本 朝子							
授業概要	<p>保育者として必要とされるピアノ演奏の基礎的技術を学ぶ。          授業はグループに分かれて個別レッスンの形態で行う。演奏技術を高めながら主要三和音のコード奏に慣れることで、簡易伴奏をつけるための基礎的な力を身につける。</p>							
学生が達成すべき行動目標	<p>1. 身体の使い方や手の構え、運指法などピアノ演奏技能の基本を習得することができる。          2. テキスト No.90(バイエル 100 番)程度の曲や、マーチの演奏技能を習得することができる。          3. ピアノ演奏を通して、読譜力、演奏力を身につけるとともに、音楽に親しみをもてるようになる。</p>							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	0	0	0	50	0	50	100	
知識・理解 (DP1-1)								
知識・理解 (DP1-2)								
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)								
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)								
関心・意欲 (DP3-2)								
態度(DP4-1)								
態度(DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)				50		50	100	
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
演奏技能の基本を習得した上で、テキスト No.90(バイエル 100 番)程度の曲やマーチを、適切なテンポや正しいリズムで演奏することができる。また、楽譜に記載されている強弱記号や発想記号をもとに、保育現場で活用することを前提とした表現力豊かな演奏をすることができる。				演奏技能の基本を習得した上で、テキスト No.90(バイエル 100 番)程度の曲やマーチを、楽譜通りに適切なテンポで演奏することができる。				
授業計画								
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法		学習課題(予習・復習)		予習・復習時間(分)

1	テーマ:オリエンテーション(全教員) 授業概要について説明し、履修形態や授業の目的、達成の目安、評価の内容と方法を理解する。	シラバスを用いてのオリエンテーションを行う	講義の内容を復習する。 保育現場におけるピアノの役割について考える	60
2	テーマ:各自の進度に合わせた個別レッスン 1(全教員) テキスト No.1、No.2、No.3	各自の進度に合わせて個別にレッスンを行う	次週からの本格的なレッスン開始に向けて個別に設定された課題曲の練習を進める。	90
3	テーマ:各自の進度に合わせた個別レッスン 2(全教員) テキスト No.4、No.5、No.9	各自の進度に合わせて個別にレッスンを行う	自らの履修状況を踏まえ、担当教員から指定される課題曲の演奏について予習・復習を行う。楽譜上の記号・用語について不明なものは事前に調べておく。	90
4	テーマ:各自の進度に合わせた個別レッスン 3(全教員) テキスト No.13、No.18、No.21	各自の進度に合わせて個別にレッスンを行う	自らの履修状況を踏まえ、担当教員から指定される課題曲の演奏について予習・復習を行う。楽譜上の記号・用語について不明なものは事前に調べておく。	90
5	テーマ:各自の進度に合わせた個別レッスン 4(全教員) テキスト No.24、No.25、No.27	各自の進度に合わせて個別にレッスンを行う	自らの履修状況を踏まえ、担当教員から指定される課題曲の演奏について予習・復習を行う。楽譜上の記号・用語について不明なものは事前に調べておく。	90
6	テーマ:各自の進度に合わせた個別レッスン 5(全教員) テキスト No.30、No.32、No.33	各自の進度に合わせて個別にレッスンを行う	自らの履修状況を踏まえ、担当教員から指定される課題曲の演奏について予習・復習を行う。楽譜上の記号・用語について不明なものは事前に調べておく。	90
7	テーマ:各自の進度に合わせた個別レッスン 6(全教員) テキスト No.37、No.40、No.42	各自の進度に合わせて個別にレッスンを行う	自らの履修状況を踏まえ、担当教員から指定される課題曲の演奏について予習・復習を行う。楽譜上の記号・用語について不明なものは事前に調べておく。	90
8	テーマ:各自の進度に合わせた個別レッスン 7(全教員) テキスト No.43、No.48、No.49	各自の進度に合わせて個別にレッスンを行う	自らの履修状況を踏まえ、担当教員から指定される課題曲の演奏について予習・復習を行う。楽譜上の記号・用語について不明なものは事前に調べておく。	90
9	テーマ:各自の進度に合わせた個別レッスン 8(全教員) テキスト No.51、ハ長調の音階、No.56、No.60	各自の進度に合わせて個別にレッスンを行う	自らの履修状況を踏まえ、担当教員から指定される課題曲の演奏について予習・復習を行う。楽譜上の記号・用語について不明なものは事前に調べておく。	90
10	テーマ:各自の進度に合わせた個別レッスン 9(全教員) テキスト ヘ長調の音階、No.61、ト長調の音階、No.63、No.65	各自の進度に合わせて個別にレッスンを行う	自らの履修状況を踏まえ、担当教員から指定される課題曲の演奏について予習・復習を行う。楽譜上の記号・用語について不明なものは事前に調べておく。	90

11	テーマ:各自の進度に合わせた個別レッスン 10(全教員) テキスト No.69、No.70、No.72	各自の進度に合わせて個別にレッスンを行う	自らの履修状況を踏まえ、担当教員から指定される課題曲の演奏について予習・復習を行う。楽譜上の記号・用語について不明なものは事前に調べておく。	90
12	テーマ:各自の進度に合わせた個別レッスン 11(全教員) テキスト No.74、No.76、No.78	各自の進度に合わせて個別にレッスンを行う	自らの履修状況を踏まえ、担当教員から指定される課題曲の演奏について予習・復習を行う。楽譜上の記号・用語について不明なものは事前に調べておく。	90
13	テーマ:各自の進度に合わせた個別レッスン 12(全教員) テキスト No.81、No.84、No.85	各自の進度に合わせて個別にレッスンを行う	自らの履修状況を踏まえ、担当教員から指定される課題曲の演奏について予習・復習を行う。楽譜上の記号・用語について不明なものは事前に調べておく。	90
14	テーマ:各自の進度に合わせた個別レッスン 13(全教員) テキスト No.89、No.90、マーチ	各自の進度に合わせて個別にレッスンを行う	自らの履修状況を踏まえ、担当教員から指定される課題曲の演奏について予習・復習を行う。楽譜上の記号・用語について不明なものは事前に調べておく。	90
15	テーマ:課題曲の演奏発表と授業のまとめ(全教員)	指定する課題曲の演奏発表と授業のまとめを行う	当科目の振り返りをもとに自らの課題を明らかにした上で、次の「こどものためのピアノ II」の履修へ向けた準備を開始する。	90
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				

理解に必要な予備知識や技能	事前にテキストに目を通し、記号や用語の意味について理解しておくこと。また、可能であれば実際に楽器を使って楽譜に記載されている音と鍵盤の位置の関係を理解したり、指番号を確認しながら打鍵を行ってみる等、各自でできる準備を始めておくこと。
テキスト	教育芸術社『大学ピアノ教本』
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	朝日出版社『最新・幼児の音楽教育』 その他、各自の進度に合わせて適宜配布する。
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	ピアノ演奏は、毎日の練習が基本となります。 毎回の授業で指示された課題を次回の授業までに習得できるように、予習・復習として 90 分以上の練習に取り組むよう心がけましょう。
達成度評価に関するコメント	課題曲の演奏発表の内容等については別途、授業内において伝達する。 日頃の課題へ取り組む姿勢、授業への参加状況も評価に含む。